

一小地域子ども館 一小あそべえ【武蔵野市】

活動場所	学校内	学校外
	○	
開催日数	254日／年間	
参加人数	191人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型 ○	プログラム活動型
学習活動の特徴	自主学習 ○	学習プログラム
学童クラブとの連携	校内交流型	

■主な活動場所

第一小学校敷地内の専用教室、校庭、図書室、体育館等

■開催日

月～金曜日 13:00～17:00

土曜日・長期休業中 9:00～17:00

■参加対象

第一小学校在籍児童とその学区域に居住する小学生

■申込み手続き

あそべえ登録票を提出

活動紹介

- 教室開放、校庭開放（早朝・放課後）、図書室開放を実施。各所に職員を複数配置し、子どもたちが自主的に、且つ安全に遊べる居場所を提供している。
- あそべえ教室では、宿題、工作、ゲームなどをして過ごし、異学年交流も行われている。
- 同組織内にある学童クラブとは、子どもたちが一緒に遊ぶ時間を作ったり、職員が日々のミーティングで情報共有を行うなど連携をしている。
- 「地域子ども館推進会議」の地域ボランティア、PTAの力を借りて「おはなし会（毎月実施）」や「クリスマス会」、「坊主めくり大会」などを実施している。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 採用・募集 館長（正規職員）、チーフ（嘱託職員）、補助職員（臨時職員）を子ども協会で採用。館長は市の推薦に基づき選考。他の職員は原則公募。
- 配置人数 毎日の開放につき、館長1名、チーフ1名、教室開放補助職員2名、校庭開放補助職員2名、図書室開放補助職員1名（水・土）を配置。
- 運営体制 平成29年度より、公益財団法人武蔵野市子ども協会に事業の運営を委託して実施。また、館長、地域団体、PTA、校長・副校長等で構成した「地域子ども館推進会議」を開催し、地域の力を活かした運営を行っている。

武蔵野市の取組

- 全教室数 12教室
- 事業目的 小学生の放課後施策の一つとして、保護者を含めた地域社会が一体となって子どもを育てるという考えに基づき、学校施設を利用した放課後等の子どもの居場所作りや異年齢児童の交流を目的としている。
- 事業の成果等 地域で子どもを見守り育てるという基本理念のもとで、放課後等に児童が安心して過ごせる自由来所型の施設として多数の小学生に利用されている。